

# おやじ通信

子どもたちの安全・安心のためにやっているパトロール活動を通じて得られた情報を発信する学期ごとの通信誌です  
 — 保護者の方にお読みいただき、子どもたちへお伝えいただきたい内容です —

## ●最近の登下校の中岡交差点の様子から

おやじ通信発行から5年が経ち、これまで3回にわたり中岡交差点について触れてきました。松が岡と藤が谷及び桜が岡の一部、はず池児童クラブの子ども達が中岡交差点を通過して登校、あるいは下校します。

全校児童約1100名に対して半数以上の約600名が横断します。ご存知の通り、道幅は狭い上に乗用車や路線バス、トラックも通行する生活道路で、一斉下校の際は、信号待ちする多くの子ども達で、車のすれ違いは困難になります。登校時は毎朝、旗振り当番さんが2名で安全に横断出来るように登校指導し、下校時は週に2回程度KFPの隊員が対応しています。それ以外は子ども達自身が、信号機に従い横断する事になります。しかしながら現状は決して安全とは言えません。朝はあまり問題はありませんが、下校時はKFPの隊員の目の隙をついて信号無視をする事もあります。特に低学年が目立ちます。また、下校指導に立たない日は、もっと多いようで、「この前、〇〇ちゃんが信号無視していたよ」という話を良く耳にします。「車が通っていないから渡っちゃえ」、「急いでいるからいいか」などの理由で信号無視をするケースが連日見受けられます。中岡交差点の信号機は長くても約50秒ほど待てば青信号に変わります。少し心に余裕を持ち、子どもであっても良識のある人として行動して欲しいと切に願っています。



2/29(水) 雪の中岡交差点

また、中岡交差点の四つ角は高い塀に囲まれ、少し“く”の字になっていてドライバーからは見通しが悪く、季節や時間帯によっては日の光で信号機の色が分からない事があります。これまでの経験で、(信号機の色が分からなかった)、(道に迷って信号を見落としてしまった)、(携帯電話に気を取られていた)などの理由で横断中の子ども達の列に車が割り込んでくる事がありました。子ども達も(赤信号に変わっているのに気が付かない)、(まだ青になっていないのに見切り横断する)、(友達に追っかけられ飛び出す)、(スクランブル交差点のように斜めに横断してしまう)など、危険なケースが見受けられます。



雪のため車のすれ違いも困難

先月の水曜日にも目の前で1年生が赤信号を渡ってしまったり、追っかけられて全力で走ってきた男の子を右腕でブロックし、未然に交通事故を防いだなど、これまで6年間の間に冷や冷やする事は何度もありました。親子と一緒に通学路を歩いたり、こっそり隠れて登下校の様子をご覧になって下さい。その他、大人についても信号無視をするシーンを良く見掛けます。特に子どもの目の前で信号無視やその他の交通違反は示しがつきません。地域ぐるみで交通マナーの向上や下校時の見守りボランティアも必要と思われまます。

## ●交通安全のシール

子ども達が信号待ちしているあいだに命の大切さについて話をする事があります。また、昨年の春から毎学期ごとに交通安全の標語を書いた動物のシールを低学年を中心に配布しています。子ども達も毎回楽しみにしていて、ランドセルや筆箱、防犯ブザーや自転車などに貼り付けてくれています。これからも中岡交差点だけではなく、子ども達が交通事故に遭わないよう、また自らが交通事故の切っ掛けとならないよう願っています。6年生は中学生になったら小学生の良いお手本になって下さいね。



次回は4月の中旬に  
配布予定です